

2000年度総会および研究大会のお知らせ

今年度の総会および研究大会を下記のように開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

- (1) 日 時 9月16日(土) 総会 13時-13時20分
研究大会 13時30分-16時30分
懇親茶話会 17時-18時
- (2) 場 所 東京日仏会館 501 会議室
渋谷区恵比寿3-9-25 (JR山手線恵比寿駅下車)
- (3) 研究大会 (サルトル研究会と共催)
テーマ 「ジャン＝ポール・サルトルの倫理思想 ―今、アンガジュマンとは」
司会者 箱石隆行氏
提題者 「相互性のユマニスム」 清真人氏
「本来の人間から全体的人間へ」 水野浩二氏
「ジェネロジテ ―贈与性としてのモラル」 澤田直氏
- (4) 懇親茶話会 日仏会館2階 レストラン レスパスにて 会費二千元(当日受付)

*研究大会に出欠の返事を8月31日までにお出しください。住所その他の変更は、その返信でお知らせください。

*会費を納入してください。1999年度より会費は3000円です。

『フランス哲学・思想』第5号発行

総会当日に配付できる予定です。引き続き第6号の募集を募集します。応募要領は雑誌の末尾を参照。

ポール・リクール教授をかこむワークショップ

稲盛財団の第16回京都賞(思想・芸術部門)を、ポール・リクール教授が受賞され、同教授をむかえてのワークショップに日仏哲学会が協賛学会として参加することになりました。リクール教授は1977年に、日仏哲学会が招聘した最初のフランス政府文化使節です。ワークショップは今年11月12日に国立京都国際会館で開催されます。詳細は次号の会報でお知らせします。

新入会員

細見和志、大小田重夫、越門勝彦、原一樹、石井敏夫、磯貝友紀、小出泰士、羽金俊宏、小松伸二、広瀬忠一郎

Henri Bergson の書簡について

フランス語哲学会連合の事務局長で著名なベルクソン研究家のAndré Robinet 教授から次のような協力要請がありましたので、広く会員諸氏にお知らせします。お心当たりがありましたら、同教授に直接ご連絡ください。住所は 8,chenin du Vieux Moulin,F-41150-Orchaise

Vous savez

que j'ai publié naguères deux gros volumes aux PUF: les *Oeuvres* et les *Mélanges* d'Henri Bergson.

Je viens d'entreprendre un troisième gros volume, prévu pour paraître en 2001, qui comporterait les *Lettres et la Correspondance de Bergson* qui existent encore en manuscrits. (et qui ne sont donc pas dans les *Mélanges*.) Pourrait-on m'en envoyer des photocopies?

Je me permets de vous poser cette question, aussi bien qu'à nos collègues de la Société franco-japonaise: connaîtriez-vous un collègue japonais qui serait intéressé par une brève recherche sur la présence de lettres de Bergson dans les archives et bibliothèques de Tokyo ou autres universités et fonds japonais?

Bien entendu, je ferais mention du collègue ou des collègues, qui auraient eu l'amabilité de me préciser quelles sont ces manuscrits. Je sais qu'il y a un groupe de collègues japonais qui étudient Merleau-Ponty, peut-être y en a-t-il un parmi eux que cela intéresserait?

2000年度総会および研究大会の報告

今年度の総会および研究大会は、去る9月16日東京日仏会館で開催されました。終了後レストラン「レスパス」で懇親茶話会がおこなわれました。

<研究大会> (サルトル研究会と共催)

テーマ 「ジャン＝ポール・サルトルの倫理思想 ―今、アンガジュマンとは」

司会者 箱石良行氏

提題者 「相互性のユマニズム」 清真人氏

「本来の人間から全体的人間へ」 水野浩二氏

「ジェネロジテ ―贈与性としてのモラル」 澤田直之氏

<総会>

以下の会計報告が承認されました。

<会計報告>

1999年度予算

(収入)

会員会費	600,000円
懇親会費	40,000円
雑収入	50,000円
前年度繰越金	1,176,271円
計)	1,866,271円

1999年度決算

(収入)

会員会費	849,000円
懇親会費	40,000円
雑収入	82,000円
前年度繰越金	1,176,271円
計)	2,147,271円

2000年度予算

(収入)

会員会費	650,000円
懇親会費	40,000円
雑収入	70,000円
前年度繰越金	1,466,496円
計)	2,226,496円

(支出)

大会費	50,000円
懇親会費	50,000円
事務局費	30,000円
通信費	150,000円
印刷費	15,000円
機関誌刊行費	500,000円
次年度繰越金	1,071,271円
計)	1,866,271円

(支出)

大会費	47,119円
懇親会費	52,000円
事務局費	32,900円
通信費	119,815円
印刷費	12,500円
機関誌刊行費	416,439円
次年度繰越金	1,466,498円
計)	2,147,271円

(支出)

大会費	50,000円
懇親会費	50,000円
事務局費	180,000円
通信費	150,000円
印刷費	15,000円
機関誌刊行費	500,000円
次年度繰越金	1,281,496円
計)	2,226,496円

注1) 雑収入の内訳

出版者著作権協議会	50,000円
機関誌売上代	32,000円

注2) 機関誌印刷製本費 35,000円

注3) 繰越金内訳

定額貯金	700,000円
振替貯金	706,739円
手元現金	59,703円
計)	1,466,496円

新入会員

鈴木道彦、清真人、西野真季、西村高宏

『フランス哲学・思想研究』第6号の論文を募集します。応募規定は第5号p.180をご覧ください。

講演と討論

11月6日(月)午後6時 於 日仏会館601会議室

『モード：哲学的、美学的考察』

フランソワ・ジュリアン パリ第七大学教授(中国思想・哲学)

中川久定 国立京都博物館長(18世紀フランス文学・思想史)

共催：日仏哲学会、日仏美術学会

第16回京都賞記念ワークショップ

11月12日13時20分

講演「過去の表象を前にした裁判官と歴史家」受賞者ポール・リクール教授

シンポジウム「新しい他者の発見」講演者 中村雄二郎氏、坂部恵氏、杉村靖彦氏

於 国立京都国際会館

国際シンポジウム

「20世紀の総括 ―サルトルの遺産(文学・哲学・政治)」

11月25日(土)、26日

於 青山学院大学・総研ビル

主催：サルトル研究会、青山学院大学フランス文学科 後援：日仏哲学会 ほか

詳細は別紙をご覧ください。

国際シンポジウム

『20世紀の総括---サルトルの遺産（文学・哲学・政治）』

Colloque international -- Que faire de Jean-Paul Sartre?:

Héritages littéraires, philosophiques et politiques

11月25日（土）26日（日）

会場 青山学院大学・総研ビル
（営団地下鉄 表参道駅 徒歩5分）

サルトルの時代とも言われる20世紀最後の年、またサルトル没後20年に当たる今年、サルトルおよびその同時代の作家・思想家を研究する方々を広く内外から招き、20世紀後半のフランスの思想と文学の意義を問う国際シンポジウムを開催いたします。多数の方のご来場をお待ちしております。

11月25日（土）午後1時～5時半

研究発表：サルトルとその時代 司会：鈴木道彦（獨協大学）

井上たか子（獨協大学）、東浦弘樹（関西学院大学）、Philippe Vanney（獨協大学）

共同討議：サルトルの遺産 司会：石崎晴己（青山学院大学）

Geneviève Idt（パリ第10大学）Jean-François Louette（グルノーブル第3大学）
Henri Godard（パリ第7大学）澤田直（白百合女子大学）

11月26日（日） 午前10時～5時半

研究発表/共同討議：文学をめぐって/哲学者サルトル/他者との対話

北見秀司（津田塾大学）、鈴木正道（東京外語大学）、Michaël Ferrier（中央大学）、合田正人（都立大学）、Patrice Bougon（岩手大学）、Hervé Couchot（東京外語大学）、梅木達郎（東北大学）、三浦信孝（中央大学）、石崎晴己（青山学院大学）、渡辺諒（横浜市立大学）、小倉孝誠（都立大学）

*発表は、日本語あるいはフランス語で行われます。

主催：サルトル研究会・青山学院大学フランス文学科

後援：フランス大使館、日本フランス語フランス文学会、日仏哲学会、中央大学

問い合わせ サルトル研究会

電話・FAX (03) 5316-6737 E-mail: JC8N-SWD@asahi-net.or.jp

詳しいプログラムはホームページ上でもご覧になれます。

<http://www05.u-page.so-net.ne.jp/fb3/sartre/>

2001年春のシンポジウムのお知らせ

日仏哲学会の春のシンポジウムを下記のように開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

テーマ 「精神分析と哲学」

司会者 谷川多佳子氏

提題者 「狂気内包性思想の精神分析 ―ラカンの観点から」

加藤 敏氏

「ドイツにおけるラカン」

大宮勘一郎氏

「後期メルロ＝ポンティと精神分析 ―＜感覚すること＞と無意識」

広瀬浩司氏

日 時 3月24日(土) 午後2時－4時30分

場 所 東京 日仏会館 501 会議室

JR山手線恵比寿駅下車 ガーデンプレイスわき

新入会員

渡辺博之、荒木秀夫、中野康次郎、沼田千恵、福田肇、森本伸二、山本学

*住所その他の変更の際は必ず事務局までお知らせください。日仏会館には係の者は常駐しておりませんので、連絡は下記をお願いします。

167-0021東京都杉並区井草1-42-9 久米 博

tel 03-3399-3372 fax 03-3394-8504

<学会情報>

第29回フランス語哲学会連合国際学会

昨年の総会で、次回2002年の学会の開催地は未定でしたが、このほど以下のように決定したと通知がありました。詳細は次号でお知らせします。

開催地: Nice

主催団体: Université de Nice, Société azurienne de philosophie, Centre de recherches d'histoire des idées.

テーマ: Devenir de la raison, avenir des rationalités.

第5回カント学会

開催地: Montréal

主催学会: Société d'études kantienne de langue française.

日程: du 27 au 29 septembre 2001

テーマ: La réception de la raison pure (1ère et 2e éditions) 1781-1801.

2001年度総会および研究大会のお知らせ

今年度の総会および研究大会が、下記のように開催されることになりましたので、ご案内申し上げます。
多数の皆様のご参加をお願いいたします。

- (1) 日 時 9月24日(月曜休日) 総 会 13時-13時30分
研究大会 13時40分-16時30分
懇親茶話会 17時-18時
- (2) 場 所 東京日仏会館 501会議室(5階)
渋谷区恵比寿3-9-25 (JR山手線恵比寿駅下車、ガーデンプレイスわき)
- (3) 研究大会 テーマ「メニュー・ド・ビラン哲学の可能性」
司会者 松永澄夫氏
報告者「抵抗の異質性 ―メニュー・ド・ビランにおける<抵抗>の概念の可能性」村瀬鋼氏
「反省とシーニュ ―フランス・スピリチュアリズムの一系譜 ―」岩田文昭氏
「身体の構成 ―ビラン?ビランを越えて?」中 敬夫氏
- (4) 懇親茶話会 日仏会館2階 レストラン レスパス にて 会費二千元(当日受付)

会費を納入してください。99年度より会費は3000円です。
住所その他変更の際は、必ず事務局までお知らせください。

2001年度学士院賞が本学会会員の小林道夫氏に
受賞の対象になりましたのは『デカルトの自然哲学』（岩波書店）です。お慶び申し上げます。

<学会報告>去る7月3-10日、Cerisy-la-Salle で国際学会《Auguste Comte Aujourd'hui》が開催され、欧州、北米、南米、日本などから30余名のコント研究者が参集し、コント思想の再評価を目指す熱心な討議が展開された。会を特に活気づけていたのは、A.Brenner、F.Vatin、L.Clauzadeら若手研究者たちから提示された視点であった。（安孫子信）

第29回フランス語哲学会連合国際学会

二年毎に開催されるAssociation des Sociétés de Philosophie de Langue Française.の第29回国際学会が下記のように来年フランスのニース大学で行われます。詳細は当事務局にお問い合わせください。

Thème: Avenir de la raison, Devenir des rationalités. Dates du Congrès: du 27 août au 1 sep. 2002

Section I :Les figures de la raison aujourd'hui.

II:Les rationalités scientifiques.

III: Unité et pluralité de la raison pratique.

Ont déjà donné leur accord pour présenter une conférence plénière: B.Bourgeois, M.Conche, J.Derrida, G.G.Granger.

Envoyer le formulaire d'inscription à: Mme Renée Le Boulanger

98, Boulevard E. Herriot-BP. 3209 06204 NICE-CEDEX3-FRANCE

Tél.33-04-9337-5416 Fax.33-04-9337-5481 Courriel:leboulan@unice.fr

2002 年 春 季 シ ン ポ ジ ウ ム の お 知 ら せ

2002 年度春季シンポジウムが次の要領で開催されます。皆様のご参加をお待ちしております。

テーマ 「合理主義と真理」(1)

司会者 村上勝三氏

提題者 小泉義之：デカルトのマテーシス — 精神・機械・生物

鈴木 泉：マルブランシュにおける無限と存在 — 「存在一般についての漠然とした観念」をめぐって (仮題)

佐藤一郎：スピノザと真理

松田 毅：モナドロジックな「心」の哲学の可能性 — ライプニッツの反懷疑主義的論証から見た「合理性」

日時 3月30日(土) 午後1時30分—4時40分

場所 京都 京大会館 2階219号室

〒606-8305 京都市左京区吉田河原町15-9

電話075-751-8311

京阪電車 丸太町駅下車 京大病院方面出口を出て、徒歩約10分

JR 京都駅より市バス206番系統 京大正門前下車、徒歩約10分

終了後、懇親会を予定しています。多数の会員の皆様のご参加をお待ちしています。

新入会員

大西克智 津崎良典 中根弘之

お知らせ

- ・2002年9月の大会ではシンポジウムの他に、一般研究の発表も行います。

研究大会日時：2002年9月14日(土)

場所：法政大学

発表時間：25分(質疑時間は含みません。発表後、適宜、質疑時間を設けます。)

応募要領 : 発表要旨(3000字程度)3部および返信用封筒を、5月末日までに事務局(松永澄夫)宛に送ること。

発表の採否は7月中旬までに通知します。

「文化系フランス政府給費留学生の会」(仮称)について

在日フランス大使館文化部の主導により、表記の会が発足することになり、その設立総会が4月13日(土)午後、日仏会館で開催されることになりました。同日18時よりフランス大使館でカクテルパーティが催されます。

この会の最初の事業として旧フランス政府給費留学生の完全な名簿を作成することになっております。そのために大使館が把握しているのは、該当する会員の半数にも達していません。そこで本学会員で該当される方は至急、氏名、住所、留学年度、留学先大学名、現職を、久米博会長宛にお知らせいただくようお願い致します。

宛先：〒167-0021 東京都杉並区井草1-42-9 久米 博

学会情報 (会報 No.33 にて 既報)

Association des Sociétés de Philosophie de Langue Française の第29回国際学会が、フランスのニースで行われます。

日時：2002年8月27日から9月1日まで

照会先： Mme Renée Le Boulanger

98, Boulevard E.Herriot-BP.3209 06204 NICE-CEDEX3-FRANCE

Tel: +33-4-9337-5416 Fax: +33-4-9337-5481

Courriel: leboulan@unice.fr

* 前記研究発表の申し込みを含め、住所変更などの連絡は下記宛てにお願いします。
日仏会館には係の者は常駐しておりません。

〒301-0005 茨城県龍ヶ崎市川原代町 1043-17 松永澄夫

(ただし、3月1日—6月17日の間は

〒305-0061 茨城県つくば市稲荷前 24-1 パークハイム 402 松永澄夫)

日 仏 哲 学 会 事務局 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 3-9-25 日仏会館内

2002 年秋季研究大会のお知らせ

2002 年秋季研究大会を別紙プログラムの要領で開催いたします。今大会から、一般研究発表が行われることになりました。会場は日仏会館でなく、法政大学 92 年館（大学院棟）401・402 号室です（別紙地図参照）。ご注意ください。また、法政大学のボアソナードタワー26F ラウンジという素敵な場所で懇親会を予定しております。大会共々多くの皆様のご参加をお待ちしております。

研究大会および懇親会の出欠を8月20日までにお知らせください。なお、懇親会ご参加の方は、恐れ入りますが、準備の都合上、予め参加費を同封の振り込み用紙にてお支払いいただきますようお願い申し上げます。懇親会参加費は3000円です。

★ 『フランス哲学・思想研究』公募論文について

第8号から応募締め切りが1ヶ月早くなりました。締め切り：2002年12月31日
送付先：〒255-0004 神奈川県中郡大磯町東小磯 420—6 安孫子信

★ 会費納入のお願い

2001年9月—2002年8月度、もしくはそれ以前の年度の会費納入をお忘れの方は、会費をご納入くださいますよう、お願い申し上げます。年会費は3000円です。（会報をお届けした封筒に、未支払い会費額が記載されています。必要な場合、振り込み用紙の金額記載欄をご訂正ください。）

『フランス哲学・思想研究』も分厚くなり、出版費用も高くなっております。非常に乏しい予算でやりくりしておりますので、宜しくご協力いただけますようお願い致します。なお、会計年度は、毎年9月1日—翌年8月31日となっております。8月末日までに納入された方に対して9月の大会時またはその後郵送にて会誌を配布するのが原則です。当面、会費未納入が3年を越える場合、会誌の配布を中止させていただきます。

★ 会員の消息について

以下の会員に連絡がつきません。消息をご存じの方は、事務局までお知らせいただければ幸いです。

大塚直子 名須川学 前原有美子 加藤茂

★ 新入会員

石原陽一郎 川口茂雄 熊野純彦 国領佳樹 酒井草平 沢崎壮宏 澤里岳史
永瀬雅恵 畠山明香 松本力 柳沢望 吉澤保 渡辺誠

☆住所変更など各種連絡は下記宛てにお願いします。日仏会館には係の者は常駐していません。

〒301-0005 茨城県龍ヶ崎市川原代町 1043-17 松永澄夫

日 仏 哲 学 会 事務局 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 3-9-25 日仏会館内

日仏哲学会 2002 年秋季研究大会プログラム

期日:2002 年 9 月 14 日(土) 場所:法政大学

一般研究発表

A 会場:401号室 10時～12時40分 司会:望月太郎氏

畠山明香 :メーヌ・ド・ビランのロック批判とその検討

吉澤 保 :モリヌー問題とコンディヤック

福田 肇 :自由と神 — メーヌ・ド・ビランの実存主義と神秘主義

柳沢 望 :ベルクソンにおける意味の理論

B 会場:402号室 10時～12時 司会:村上勝三氏

大西克智 :スピノザにおける「共通概念」(notiones communes)

— それ自体の内容的抽象性と、文脈上の機能的実効性について

木島泰三 :初期スピノザに現われる「無力なデカルト的自我」とその行方

— 感情と意志の問題を中心に

渡辺貴史 :ルソーにおける一般意志の射程について

総 会

401教室 13時30分～13時55分

会則改正の議案が予定されています

シンポジウム 「合理主義と真理」(2) 司会:谷川多佳子氏

401教室 14時～17時

香川知晶 :デカルトのエゴの生成

伊藤泰雄 :マルブランシュにおける魂の闇と真理

上野 修 :スピノザの真理

佐々木能章:偶然性の射程 — ライプニッツの普遍学の合理主義的性格

懇親会

ボアソナードタワー26F ラウンジ 17時30分～19時30分

2002年度総会および研究大会の報告

今年度の総会および研究大会、ならびに懇親会が、去る9月14日、法政大学で開催されました。

<総会>

以下の会計報告と会則改正が承認されました。

<会計報告>

2001年度予算		2001年度決算		2002年度予算	
〔収入〕		〔収入〕		〔収入〕	
会員会費	700,000	会員会費	798,000	会員会費	750,000
懇親会費	40,000	懇親会費	40,000	雑収入	10,000
雑収入	50,000	雑収入	12,500		
前年度繰越金	1,871,137	前年度繰越金	1,871,137	前年度繰越金	1,855,202
計)	2,661,137	計)	2,721,637	計)	2,615,202
〔支出〕		〔支出〕		〔支出〕	
大会費	50,000	大会費	30,302	大会費	50,000
懇親会費	50,000	懇親会費	55,125	事務局費	60,000
事務局費	40,000	事務局費	78,162	通信費	160,000
通信費	150,000	通信費	166,816	印刷費	50,000
印刷費	20,000	印刷費	52,890	機関誌刊行費	500,000
機関誌刊行費	500,000	機関誌刊行費	483,140		
次年度繰越金	1,851,137	次年度繰越金	1,855,202	次年度繰越金	1,795,202
計)	2,661,137	計)	2,721,637	計)	2,615,202
注1) 機関誌刊行費は表紙デザイン代+印刷製本代		注4) 繰越金内訳		定額貯金	1,185,000
原稿送料等は通信費に算入				振替貯金	647,223
注2) 雑収入12,500円は機関誌売上				現金	22,979
注3) 02年度予算懇親会費は別会計で処理				計)	1,855,202

<会則改正>

内容に関する実質的変更はありません。新会則は『フランス哲学・思想研究』第8号に掲載します。

<一般研究発表>

A会場 司会 望月太郎氏

- 畠山明香氏 : メーヌ・ド・ビランのロック批判とその検討
- 吉澤 保氏 : モリヌー問題とコンディヤック
- 福田 肇氏 : 自由と神 —メーヌ・ド・ビランの実存主義と神秘主義
- 柳沢 望氏 : ベルクソンにおける意味の理論

B会場 司会 村上勝三氏

- 大西克智氏 : スピノザにおける「共通概念」(notiones communes)
—それ自体の内容的抽象性と、文脈上の機能的実効性について
- 木島泰三氏 : 初期スピノザに現れる「無力なデカルト的自我」とその行方
—感情と意志の問題を中心に
- 渡辺貴史氏 : ルソーにおける一般意志の射程について

＜シンポジウム＞「合理主義と真理」（２）

司会 谷川多佳子氏

提題者 香川知晶氏 : デカルトのエゴの生成

伊藤泰雄氏 : マルブランシュにおける魂の闇と真理

上野 修氏 : スピノザの真理

佐々木能章氏 : 偶然性の射程—ライプニッツの普遍学の合理主義的性格

★ 29 Congrès International de l'Association des Sociétés de Philosophie de Langue Française 報告

上記の学会が Nice で去る 8 月 27 日から 9 月 1 日まで開催されました。開会式は Nice 大学の D.Janicaud 教授の急逝を悼む言葉で始まりました。大会のテーマは *Avenir de la raison, Devenir des rationalités* でした。J.Derrida 教授の開会講演は予定を一時間近く超えました。プログラムは 5 日間毎日、朝の全体講演、夕方 5 時からのシンポジウムがあり、その間に、午前と午後七つの分科会会場での一般研究発表が 220 あまり行われるという、例年になく盛りだくさんでした。シンポジウムは、*Défi des techno-sciences, Mondialisation, Post-métaphysique* といったテーマで行われ、活発でした。総会では新たにルーマニアなど 3 学会の加入が認められ、全体で 38 学会になりました。次の開催地は Nantes で、会期は 2004 年 8 月 24～29 日、テーマは *L'Homme et la Réflexion* と発表されました。（久米 博）

★「2003 年秋季研究大会」一般研究発表応募要領

発表要旨（3000 字程度）3 部および返信用封筒を、2003 年 5 月末日までに下記事務局宛に送ること。（大会は 9 月初旬に開かれます。正式の日時・場所は追って「会報」でお知らせします。）

【日仏哲学会事務局】 〒301-0005 竜ヶ崎市川原代町 1043-17 松永澄夫

Tel: 0297-66-6376

★『フランス哲学・思想研究』論文応募規定

- 1) テーマ：フランスの哲学・思想に関するもの
- 2) 応募資格：日仏哲学会会員
- 3) 原稿の形式：ワープロによる完全原稿。33 字×27 行の横書き、注も含めて 12000 字。仏文レジュメ（タイトルも含め 33 字×13 行）を本文とは別のページに付すこと。以上を A4 版でプリントアウトしたものを 3 部提出。原稿は返却しない。
- 4) 原稿作成上の注意：ウムラウトやアクサン、専門用語に使用される特別な外字などは赤線で囲うこと。欧文のハイフオンは本来のものだけとし、改行時には入れないこと。
- 5) 原稿締め切り：毎年 12 月 31 日
- 6) 原稿送付先：〒255-0004 神奈川県中郡大磯町東小磯 420-6 安孫子信
- 7) 審査：掲載の可否は編集委員会で決定する。掲載決定の場合、応募者は原稿のフロッピーディスク（マッキントッシュ以外の機種は MS-DOS 化し、その機種を明記のこと）を送付すること。

【2003年春季シンポジウムのお知らせ】

2003年春季シンポジウムを次の要領で開催いたします。ご参加くださいますようお願い申し上げます。

- ◆ 日時 : 2003年3月29日(土)、午後1時半～5時
 - ◆ 全体の題名 : 啓蒙と反啓蒙
 - ◆ 報告者と報告題目 :
 - 吉永 和加(大阪大学) 「反啓蒙のための啓蒙 —ジャン・ジャック・ルソー—」
 - 今野喜和人(静岡大学) 「サン＝マルタンにおける反啓蒙」
 - 細見 和志(関西学院大学) 「トクヴィルと啓蒙の政治学」
 - ◆ 司会 : 望月太郎 (大阪大学)
 - ◆ 会場 : 京大会館102号室
〒606-8305 京都市左京区吉田河原町15-9 : Tel. 075-751-8311
京阪電車・丸太町駅下車・京大病院方面出口を出て、徒歩約10分
または JR 京都駅より市バス206番系統・京大正門前下車・徒歩約10分
- ☆ シンポジウム終了後に近所(「平和」)で懇親会を予定しています。会費は実費です。

【新入会員】(2002年8月以降)

麻生晴子、荒谷大輔、岩野卓司、大井英晴、小関彩子、新海太郎、慎改康之、辻虎志、武田裕紀、中川雄一、縄田陽介、西山達也、橋本由美子、本郷均、宮崎裕助、村井久二、村山達也、山尾智美、山本祐歌

【お知らせ】

- ★ 2003年9月の大会ではシンポジウムの他に、一般研究発表も行います。口頭発表では、その場での質疑応答という、貴重な場があります。これは印刷論文にはない特色です。公募論文応募のみならず、こちらにも積極的なご参加をお願い致します。
 - ◆ 研究大会日時: 2003年9月6日(土) ◆ 場所: 法政大学
 - ◆ 発表時間: 25分(質疑時間は含みません。発表後、適宜、質疑時間を設けます。)
 - ◆ 応募要領: 発表要旨(3000字程度)3部および返信用封筒を、5月末日までに事務局(松永澄夫)宛に送ること。発表の採否は7月中旬までに通知します。
 - ★ XXX^e Congrès de l'Association des Sociétés de Philosophie de Langue Française
前号でお知らせした上記学会の受付が始まりました。
 - ◆ テーマ: L'homme et la réflexion ◆ 会期: 2004年8月24日(火)～28日(土)
 - ◆ 会場: Faculté de Médecine, Grand Amphithéâtre Kernéis 1, rue Bias-44000 NANTES (France)
- Internet: <http://www.congres-scientifique.com/asplf04/>
- ☆ Formulaire d'inscription を入用の方は、久米博か松永澄夫に請求してください。

【日仏哲学会事務局】

〒301-0005 茨城県龍ヶ崎市川原代町1043-17 松永澄夫 (Tel: 0297-66-6376)

【2003 年 秋 季 研 究 大 会 の お 知 ら せ】

2003 年秋季研究大会を別紙プログラムの要領で開催いたします。多くの皆様のご参加をお待ちしております。研究大会および懇親会の出欠を 8 月 20 日までにお知らせください。懇親会参加費は 3000 円です。当日お支払いください（出席申し込みの上はキャンセルなさいませんようお願い致します）。

◆ 研究大会会場： 法政大学（市ヶ谷校地）「62 年館」2 階

◆ 〒162-0843 新宿区市ヶ谷田町 2-33（受付の Tel：03-5261-5119）

★ 『フランス哲学・思想研究』公募論文について

1) 原稿の形式：ワープロによる完全原稿。和文・仏文を問わず 1 行全角 33 字（半角 66 字）の設定で横書き、注も含めて 370 行以内。和文・仏文いずれの場合も仏文レジュメ（上記設定でタイトルも含め 13 行以内）を本文とは別のページに付すこと。以上を A4 版 1 ページ 33 字×27 行でプリントアウトしたものを 3 部提出。原稿は返却しない。

2) 原稿作成上の注意：アクセントやウムラウト、専門用語に使用される特別な外字などは赤線で囲うこと。欧文のハイフンは本来のものだけとし、改行時には入れないこと。

3) 原稿締め切り：毎年 12 月 31 日

4) 原稿送付先：〒255-0004 神奈川県中郡大磯町東小磯 420-6 安孫子信

5) 審査：掲載の可否は編集委員会で決定する。

★ 会費納入のお願い

会費をご納入くださいますよう、お願い申し上げます。年会費は 3000 円です。（会報をお届けした封筒に、6 月 30 日現在での過年度未支払い会費額を含めた金額が記載されています。必要な場合、振り込み用紙の金額記載欄をご訂正ください。）

★ 新入会員（2003 年 2 月以降）

荒金直人、岩佐宣明、落合芳、小林徹、小林玲子、今野喜和人、高橋江里子、三宅岳史

☆ 東京大学大学院総合文化研究科（駒場）に設置された UTC P（共生のための国際哲学交流センター）では、フランス関係では、本年 11 月に次のような講演会・シンポジウムを計画しています。

● 11 月 22 日（土） マネをめぐるシンポジウム

● 11 月 27 日（木） Alain Juranville 講演会（日本ラカン協会との共催）

● 11 月 28 日（金）～30 日（日） ロラン・バルトに関する国際コロック

（日仏学院、駒場キャンパス、日仏会館など）

時間・参加者などの詳細は、9 月以降に UTC P 事務局（03-5454-4379）、あるいは小林康夫（liberte7@xb3.so-net.ne.jp）までお問い合わせください。

☆ 住所変更など各種連絡は下記宛てにお願いします。日仏会館には係の者は常駐しておりません。 〒301-0005 茨城県龍ヶ崎市川原代町 1043-17 松永澄夫

日仏哲学会 2003 年秋季研究大会プログラム

期日:2003 年 9 月 6 日(土) 場所:法政大学

一般研究発表 10時～12時10分

A 会場:231号室 司会:福居 純氏

- 岩佐宣明 :問題としてのコギト —コギトと欺く神—
沢崎壮宏 :再現と構成との間 —デカルトにおける創作的精神と美学の可能性—
川口茂雄 :ラシュリエ『帰納の基礎』と動力因、目的因、そして反省的思惟

B 会場:232号室 司会:中田光雄氏

- 村山達也 :持続と純粹記憶
三宅岳史 :ベルクソンにおける物質の二義性と観測の問題
中富清和 :ベルクソンの無について

C 会場:233号室 司会:小林康夫氏

- 杉本隆久 :歴史についての知覚の現象学 —メルロー＝ポンティ現象学における
「歴史」について—
小林玲子 :隠喩と痕跡 — レヴィナスの“意義と意味”に関する研究
荒金直人 :デリダの『発生の問題』に於ける弁証法

総 会 13時20分～13時50分 232教室

シンポジウム 14時～17時 232教室

「歴史と哲学—J.-P.サルトル、M.メルロー＝ポンティ、M.フーコー」 司会:中田光雄氏

- 澤田直之 :歴史と歴史性 —サルトルにおける真理の諸問題
実川敏夫 :記憶の場と真理の場 —メルロー＝ポンティの方法的合理主義
桑田禮彰 :フーコーの歴史哲学

懇親会 17時30分～19時30分 ボアソナードタワー26F ラウンジ

★ 2003 年度総会および研究大会の報告

今年度の総会および研究大会、シンポジウムが7月配布のプログラム通りに行われました。

＜総会＞ 以下の会計報告が承認されました。

2002 年度予算		2002 年度決算		2003 年度予算 (案)	
収入		収入		収入	
会員会費	750,000	会員会費	868,000	会員会費	350,000
雑収入	10,000	雑収入 (注1)	63,100	雑収入	10,000
(単年度収入	760,000)	(単年度収入	931,100)	(単年度収入	36,0000)
前年度繰越金	1,855,202	前年度繰越金	1,855,202	前年度繰越金	2,045,664
計)	2,615,202	計)	2,786,302	計)	2,405,664
支出		支出		支出	
大会費	50,000	大会費	49,177	大会費	80,000
事務局費	60,000	事務局費 (注2)	97,932	事務局費	100,000
印刷費	50,000	国際学会費	7,850	通信費・送料	170,000
通信費・送料	160,000	通信費・送料	152,859	機関誌刊行費	440,000
機関誌刊行費	500,000	機関誌刊行費	432,820	名簿作成費	60,000
(単年度支出	820,000)	(単年度支出	740,638)	(単年度支出	850,000)
次年度繰越金	1,795,202	次年度繰越金(注3)	2,045,664	次年度繰越金	1,555,664
計)	2,615,202	計)	2,786,302	計)	2,405,664

(注1) 機関誌売上・著作権料

(注2) 封筒等の印刷費は事務局費に参入

(注3) 繰越金内訳

定額貯金 1,185,000

振替貯金 835,323

現金 25,341

計) 2,045,664

(会計監査：杉山直樹氏)

- ◆ 予算についての補足説明：会費収入見積もりが低いのは、次の理由によります。全会員宛に会費振込み用紙をお送りするのは、これまでは7月の会報発送時でした。これを次回から、10月の会報発送時へと改めます。学会の会計年度(9月～翌年8月)と各会員の納入会費年度とのずれの発生は、未納会費を遡っての納入の場合等は避けられないことですが、このずれを少しでも解消したいが故の措置です。9月6日の総会で承認いただきました。

<一般研究発表>

A会場 司会 福居純氏

岩佐宣明 : 問題としてのコギト ―コギトと欺く神―

沢崎壮宏 : 再現と構成との間 ―デカルトにおける創作的精神と美学の可能性―

川口茂雄 : ラシュリエ『帰納の基礎』と動力因、目的因、そして反省的思惟

B会場 司会 中田光雄氏

村山達也 : 持続と純粹記憶

三宅岳史 : ベルクソンにおける物質の二義性と観測の問題

中富清和 : ベルクソンの無について

C会場 司会 小林康夫氏

杉本隆久 : 歴史についての知覚の現象学

―メルロ＝ポンティ現象学における「歴史」について―

小林玲子 : 隠喩と痕跡 ―レヴィナスの“意義と意味”に関する研究

荒金直人 : デリダの『発生の問題』に於ける弁証法

<シンポジウム> 「歴史と哲学 ―J.P.サルトル、M.メルロ＝ポンティ、M.フーコー」

司会 中田光雄氏

提題者 澤田直之氏 : 歴史と歴史性 ―サルトルにおける真理の諸問題

実川敏夫氏 : 記憶の場と真理の場 ―メルロ＝ポンティの方法的合理主義

桑田禮彰氏 : フーコーの歴史哲学

★ 2004年3月27日(土)に、同志社大学で春季シンポジウムを開催の予定です。詳細は次回の会報でお知らせいたします。

★ 新入会員: 稲垣恵一、大森史博、神山薫、小畑亜礼、鈴木賢三、船木厚志、山口尚、山下尚一、山田秀敏、三浦信孝

★ 日本ラカン協会では、国際交流基金の協賛のもと、アラン・ジュランヴィル(Alain JURANVILLE)氏(レンヌ第一大学)を招聘し、以下の予定で計3回(東京で2回、京都で1回)の講演会を開催する予定にしております。講演予定は以下の通りです。

11月27日(木) 東京大学(駒場キャンパス)にて講演(東京大学大学院総合文化研究所に設置されたUTC P[共生のための国際哲学交流センター]との共催)

11月29日(土) 日本ラカン協会第3回大会にて講演(於専修大学神田キャンパス)

12月2日(火) 京大会館にて講演(於京大会館、18時30分～20時の予定)

時間・講演タイトル等の詳細については、決定次第、日本ラカン協会ホームページ

(<http://www1.ocn.ne.jp/~lsj/>)に提示いたしますので、そちらを御覧ください。

★ 『フランス哲学・思想研究』論文応募規定

- 1) テーマ：フランスの哲学・思想に関するもの
- 2) 応募資格：日仏哲学会会員
- 3) 原稿の形式：ワープロによる完全原稿。和文・仏文を問わず1行全角33字（半角66字）の設定で横書き、注も含めて370行以内。和文・仏文いずれの場合も仏文レジュメ（上記設定でタイトルも含め13行以内）を本文とは別のページに付すこと。以上をA4版1ページ33字×27行でプリントアウトしたものを3部提出。原稿は返却しない。
- 4) 原稿作成上の注意：アクサンやウムラウト、専門用語に使用される特別な外字などは赤線で囲うこと。欧文のハイフンは本来のものだけとし、改行時には入れないこと。
- 5) 原稿締め切り：毎年12月31日
- 6) 原稿送付先：〒255-0004 神奈川県中郡大磯町東小磯420-6 安孫子信
- 7) 審査：掲載の可否は編集委員会で決定する。掲載決定の場合、応募者は原稿のフロッピーディスク（マッキントッシュ以外の機種はMS-DOS化し、その機種を明記のこと）を上記宛先に送付すること。

★ 9月6日「日仏哲学会秋季研究大会」会場で配布した『フランス哲学・思想研究』第8号に、以下の誤りがありました。心からお詫びをして訂正いたします。なお、その後の郵送分においては、以下は訂正が施されておりますので、その旨、ご承知おき下さい。（編集委員長 安孫子信）

① P200, L19-22

（誤：以下の〔 〕内、欠落）

・・・バンヴェニ〔 〕的な「語の連鎖」をラカンの「シニフィアン連鎖」の原型と考え、そこに〔 〕「精神分析が待ち望んでいたイマージュの非視覚的規定」（p93）を見る。
〔 〕アン連鎖を前にして聞き手はそこに意味を聞き為すが、・・・

（正）

・・・バンヴェニ〔スト〕的な「語の連鎖」をラカンの「シニフィアン連鎖」の原型と考え、そこに〔久しく〕「精神分析が待ち望んでいたイマージュの非視覚的規定」（p93）を見る。
〔シニフィ〕アン連鎖を前にして聞き手はそこに意味を聞き為すが、・・・

② P i i, L15（目次）、P188, L1-2

（誤）中富清和著『愛と無の哲学』

（正）中富清和著『無と愛の哲学』

★ 2004年9月11日（土）、東京大学で2004年度総会および研究大会を開催の予定です。一般研究発表の公募の詳細については次回の会報でお知らせ致します。

【日仏哲学会事務局】 〒301-0005 竜ヶ崎市川原代町1043-17 松永澄夫
Tel: 0297-66-6376